

令和 8 年度

事業概要

(令和 7 年度実績)

和歌山県障害児者サポートセンター

目 次

I	障害児者サポートセンターの概要	1
	組織の沿革	3
II	身体障害者手帳・療育手帳の交付事務	4
III	身体障害者更生相談所の概要	5
1	業務内容	5
2	市町村・障害別の主な補装具判定件数（令和7年度実績）	7
3	市町村・障害別の主な自立支援医療（更生医療）判定件数（令和7年度実績）	8
4	内容別相談件数の推移	9
IV	知的障害者更生相談所の概要	10
1	業務内容	10
2	内容別相談件数の推移	11
3	内容別判定件数の推移	12
4	巡回相談実施状況（令和7年度実績）	13
5	療育手帳判定実施状況（令和7年度実績）	14
6	療育手帳新規交付者数の推移	15
7	巡回相談（知的障害児）	16
8	療育手帳交付数＜障害児（18歳未満）判定分（当センター分）＞	16
V	高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業	17
VI	身体障害者福祉センターの概要	27
1	施設の貸し出し	27
2	「声の県民の友」と「声のわかやま県議会だより」の発行	28
VII	和歌山県障害者スポーツ協会の概要	29
VIII	こども診療室（こどもメンタルクリニック）の概要 ＜令和元年6月から休止＞	35

I 障害児者サポートセンターの概要

和歌山県障害児者サポートセンターは、身体障害者及び知的障害者の福祉の増進を図るため、次のとおり業務を行っている。

【設置場所】

和歌山市毛見 1437 番地 218 電話：073-445-7314 FAX：073-446-0036

※相談時間 9 時～17 時 45 分（土・日・祝日・年末年始を除く）

【位置づけ】

- 1 身体障害者更生相談所
- 2 知的障害者更生相談所
- 3 身体障害者福祉センター
- 4 高次脳機能障害支援拠点機関

【組織】

- 1 構成（令和 7 年 4 月 1 日現在）

職員 23 名

内訳

常勤職員（専任）								
所長	課長	主任	主査	副主査	主事	福祉主事	再任用 (フルタイム)	計
1	1	3	4	6	2	2 (1)	1	20 (1)

※（ ）は育休中職員

会計年度任用職員		
コーディネーター	事務補助	計
2	1	3

嘱託医 5 名（身体障害者更生相談所 4 名、高次脳機能障害支援 1 名）

【業務内容】

障害者支援課

- 1 社会参加推進係
 - ・障害者の社会参加推進に関すること
 - ・障害児者サポートセンター体育施設等の貸し出し

- ・和歌山県障害者スポーツ協会に関すること
- 2 身体障害者支援係
 - ・身体障害者に係る更生相談に関すること
補装具、自立支援医療（更生医療）、その他
 - ・身体障害者手帳の障害認定及び交付（和歌山市を除く）に関すること
 - ・高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業に関すること
相談支援、人材育成、普及啓発、その他
- 3 知的障害者支援係
 - ・知的障害者に係る更生相談に関すること
療育手帳に関する相談、その他
 - ・療育手帳の交付に関すること
療育手帳の判定、交付等（18歳未満のみなべ町を含む西牟婁圏域、東牟婁圏域を除く）

○組織の沿革

昭和 23 年（1948 年）～平成 7 年（1995 年）9 月

- 身体障害者更生相談所
- 知的障害者更生相談所
- 肢体不自由者更生施設
- 身体障害者福祉センター

昭和 23 年 和歌山県義肢製作所を設置
(和歌山市洲崎町)

昭和 26 年 8 月 和歌山県身体障害者更生相談所を設置
(同上)

昭和 30 年 5 月 和歌山県身体障害者更生指導所を設置
(和歌山市湊 470)

7 月 更生指導所設置に伴い身体障害者更生相談所と義肢製作所を併設
(同上)

昭和 35 年 9 月 和歌山県精神薄弱者更生相談所を設置
(同上)

昭和 46 年 8 月 身体障害者更生指導所、同更生相談所、精神薄弱者更生相談所、義肢製作所を新築移転
(和歌山市毛見 1437-218)

昭和 47 年 9 月 和歌山県身体障害者福利厚生ホームを設置
体育館を設置
(同上)

昭和 49 年 5 月 上記組織を統合し、和歌山県身体障害者福祉センターを設置
(同上)

11 月 室内温水プールを設置
(同上)

平成元年 4 月 和歌山県身体障害者スポーツ協会事務局設置<移管>
(同上)

平成 6 年 4 月 義肢製作所を廃止

平成 7 年 10 月～令和 6 年 3 月

- 和歌山県子ども・障害者相談センター

平成 7 年 10 月 和歌山県身体障害者福祉センターと和歌山県中央児童相談所を統合し、和歌山県子ども・障害者相談センターを設置
(和歌山市毛見 1437-218)

平成 17 年 6 月 子ども診療室(子どもメンタルクリニック)開設

平成 20 年 3 月 肢体不自由者更生施設を廃止

- 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター

平成 21 年 4 月 和歌山県女性相談所を統合し、子ども・女性・障害者相談センターに改編

平成 23 年 5 月 体育館改築

令和 元年 6 月 子ども診療室(子どもメンタルクリニック)休止

令和 6 年 3 月 屋内温水プール建替完成

令和 6 年 4 月～

○和歌山県障害児者サポートセンター

令和 6 年 4 月 「和歌山県子ども・女性・障害者相談センター」を「和歌山県中央児童相談所」
「和歌山県障害児者サポートセンター」「和歌山県 DV 相談支援センター」に改編

Ⅱ 身体障害者手帳・療育手帳の交付事務

①身体障害者手帳

令和8年3月31日現在

(件)

○障害別	和歌山市	その他	合計	割合
視覚障害	1,074	2,082	3,156	6.2%
聴覚・平衡機能障害	1,735	3,653	5,388	10.6%
音声・言語・そしゃく機能障害	185	446	631	1.2%
肢体不自由	7,743	18,264	26,007	51.0%
内部障害	5,151	10,621	15,772	31.0%
合計	15,888	35,066	50,954	100.0%

○年齢別	和歌山市	その他	合計	割合
18歳未満	197	277	474	0.9%
18歳～64歳	3,862	5,921	9,783	19.2%
65歳以上	11,829	28,868	40,697	79.9%
合計	15,888	35,066	50,954	100.0%

○等級別	和歌山市	その他	合計	割合
1級	4,566	8,714	13,280	26.1%
2級	2,201	4,722	6,923	13.6%
3級	2,623	5,782	8,405	16.5%
4級	3,853	9,749	13,602	26.7%
5級	1,297	3,162	4,459	8.8%
6級	1,348	2,937	4,285	8.4%
合計	15,888	35,066	50,954	100.0%

②療育手帳

令和8年3月31日現在

(件)

○障害別	和歌山市	その他	合計	割合
A1	516	986	1,502	13.1%
A2	674	1,120	1,794	15.7%
B1	924	1,735	2,659	23.2%
B2	1,920	3,567	5,487	48.0%
合計	4,034	7,408	11,442	100.0%

○年齢別	和歌山市	その他	合計	割合
18歳未満	1,050	1,760	2,810	24.6%
18歳～64歳	2,713	4,998	7,711	67.4%
65歳以上	271	650	921	8.0%
合計	4,034	7,408	11,442	100.0%

Ⅲ 身体障害者更生相談所の概要

1 業務内容

(1) 身体障害者に関する専門的相談指導

市町村長からの依頼に応じて身体障害者の相談及び指導のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものを行っている。

(2) 医学的判定等

市町村長からの依頼に応じて、次の事項について医学的判定等を行っている。

- ① 補装具の支給・修理の可否、処方及び適合判定
機能障害の状況並びに日常生活・職業能力の状況等を勘案して補装具の処方を行い、また適合の状況についても判定している。
- ② 自立支援医療（更生医療）の可否の判定
じん臓機能障害・心臓機能障害・肢体不自由によるその他の障害について、文書による判定を行っている。

(3) 身体障害者更生相談所での処理（R7年度みなし判定3,013件含む）

（件）

	取扱 実人員	相談内容							
		自立支援 医療 （更生医 療）	補装具	身体 障害 者手 帳	職業	施設	生活	その他	計
来所	5,368	5,025	343	0	0	0	0	0	5,368
巡回	151	0	149	2	0	0	0	0	151
合計	5,519	5,025	492	2	0	0	0	0	5,519

（件）

	判定内容					判定書等交付件数			
	医学的 判定	心理学的 判定	職能的 判定	その 他の 判定	計	自立支援医 療（更生 医療）	補装具	その他	計
来所	5,368	0	0	0	5,368	1,940	338	0	2,278
巡回	149	0	0	0	149	0	95	0	95
合計	5,517	0	0	0	5,517	1,940	433	0	2,373

(4) 定例相談（各種相談は、原則として予約制です。）

定 例 相 談

令和7年度

相談内容		日程及び診査開始時間	場 所
来 所	肢体不自由 (整形外科)	毎月の第4月曜日 午後 2時～	和歌山県障害児者サポートセンター
	聴覚障害 (耳鼻科)	→完全予約制	
	視覚障害 (眼科)	→完全予約制	
巡 回	肢体不自由 (整形外科)	毎月の第3火曜日 午前10時～	和歌山市ふれ愛センター
		毎月の第2火曜日 午後 2時～	4月のみ 田辺市民総合センター 5月以降 田辺市役所
		奇数月の第1木曜日 午後 2時～	御坊保健所
		年4回・第3月曜日 午後 1時～	九度山町ふるさとセンター (10月) 橋本市保健福祉センター (5月・8月・12月)
		奇数月の第4金曜日 午後 2時～	東牟婁総合庁舎（新宮保健所）

※へき地等訪問診査については、市町村からの依頼に応じて可能な限り巡回相談を行います。

2 市町村・障害別の主な補装具判定件数(令和7年度実績)

(件)					(件)						
		肢体 不自由	適合 判定	聴覚 障害	合計			肢体 不自由	適合 判定	聴覚 障害	合計
和歌山市		71	65	123	259	日高郡	美浜町	2	1	2	5
海南市		8	9	19	36		日高町	0	1	1	2
橋本市		12	4	15	31		由良町	3	1	1	5
有田市		4	5	8	17		印南町	1	1	0	2
御坊市		4	3	10	17		みなべ町	5	3	1	9
田辺市		17	17	21	55		日高川町	1	1	4	6
新宮市		4	3	8	15	西牟婁郡	白浜町	2	7	2	11
紀の川市		10	9	12	31		上富田町	2	2	2	6
岩出市		9	6	8	23		すさみ町	1	0	1	2
海草郡	紀美野町	2	2	3	7	東牟婁郡	那智勝浦町	1	1	1	3
伊都郡	かつらぎ町	3	2	5	10		太地町	1	1	2	4
	九度山町	1	1	0	2		古座川町	0	0	0	0
	高野町	0	0	0	0		北山村	0	0	0	0
有田郡	湯浅町	1	1	2	4		串本町	1	1	0	2
	広川町	1	1	4	6	他府県		0	0	0	0
	有田川町	0	1	9	10	合計		167	149	264	580

3 市町村・障害別の主な自立支援医療(更生医療)判定件数
(令和7年度実績)

(件)

		腎臓	心臓	肢体 不自由	合計
和歌山市		331	247	90	668
海南市		69	51	2	122
橋本市		87	38	32	157
有田市		34	22	5	61
御坊市		21	19	5	45
田辺市		59	41	78	178
新宮市		51	14	11	76
紀の川市		65	42	28	135
岩出市		74	24	6	104
海草郡	紀美野町	13	5	0	18
伊都郡	かつらぎ町	35	9	8	52
	九度山町	2	3	0	5
	高野町	8	2	2	12
有田郡	湯浅町	15	7	1	23
	広川町	9	1	1	11
	有田川町	22	24	2	48

(件)

		腎臓	心臓	肢体 不自由	合計
日高郡	美浜町	4	3	2	9
	日高町	14	5	3	22
	由良町	6	2	1	9
	印南町	2	6	6	14
	みなべ町	17	7	23	47
	日高川町	9	2	5	16
西牟婁郡	白浜町	15	14	18	47
	上富田町	3	7	19	29
	すさみ町	4	5	7	16
東牟婁郡	那智勝浦町	21	6	7	34
	太地町	5	2	2	9
	古座川町	0	3	2	5
	北山村	0	0	0	0
	串本町	10	9	10	29
他府県		0	0	0	0
合計		1,005	620	376	2,001
※みなし判定分		3,013			5,014

4 内容別相談件数の推移

〈相 談〉

(平成28～令和7年度) (件)

内容別 /年度別		取 扱 実人員	相 談 内 容						計
			更生医療	補 装 具	職 業	施 設	生 活	その他(手帳含む)	
H28	来 所	5,077	4,440	597				40	5,077
	巡 回	409		347				62	409
	計	5,486	4,440	944				102	5,486
H29	来 所	5,097	4,453	591				53	5,097
	巡 回	355		304				51	355
	計	5,452	4,453	895				104	5,452
H30	来 所	5,124	4,494	595				35	5,124
	巡 回	422		368				54	422
	計	5,546	4,494	963				89	5,546
R1	来 所	5,336	4,774	541				51	5,366
	巡 回	332		289				43	332
	計	5,668	4,774	830				94	5,698
R2	来 所	4,216	3,613	557				46	4,216
	巡 回	303		267				36	303
	計	4,519	3,613	824				82	4,519
R3	来 所	5,466	4,989	470				7	5,466
	巡 回	181		167				14	181
	計	5,647	4,989	637				21	5,647
R4	来 所	5,442	5,059	383					5,442
	巡 回	137		137					137
	計	5,579	5,059	520					5,579
R5	来 所	5,304	4,934	367				3	5,304
	巡 回	190		178				12	190
	計	5,494	4,934	545				15	5,494
R6	来 所	5,273	4,923	349				1	5,273
	巡 回	195		192				3	195
	計	5,468	4,923	541				4	5,468
R7	来 所	5,368	5,025	343					5,368
	巡 回	151		149				2	151
	計	5,519	5,025	492				2	5,519

(参考)※ 更生医療の「みなし判定分」を含む。

Ⅳ 知的障害者更生相談所の概要

1 業務内容

知的障害者の福祉について相談に応じ、療育手帳に関する必要な助言や医学的・心理学的判定とこれに関わる必要な指導を行う。

- (1) 市町村の扱うケースについて医学的・心理学的判定を求められた場合、また知的障害者またはその家族からの相談に応じ、判定が必要と思われる場合は、医学的・心理学的判定を行う。
- (2) 関係機関と協力して巡回相談を行い、医学的・心理学的判定と必要な指導を行う。
- (3) 市町村・知的障害者援護施設等と連携を図り、情報交換を行う。

1 来所相談

和歌山県障害児者サポートセンターで判定や相談を行う。

予約制（受付時間 9:00 ～ 17:45）

2 巡回相談

対象者の利便を図るため、振興局等で判定や相談を行う。

【令和7年度実施場所】

＜対象年齢：18歳以上＞

障害児者サポートセンターが県内全域管轄

地 域	日 程	場 所
伊 都	4月21日・10月20日・1月26日	橋本保健所
那 賀	5月8日・7月17日・9月11日・ 11月6日・1月29日	岩出保健所
有 田	5月29日・9月25日・2月12日	有田振興局
日 高	6月19日・12月11日	御坊保健所
西牟婁	5月22日・7月10日・9月4日・ 11月13日・1月15日・3月12日	田辺市役所
東牟婁	6月26日・3月4日・3月16日	新宮保健所
串 本	10月2日	新宮保健所串本支所
和歌山市	4月23日・7月30日・ 12月10日・3月11日	和歌山市中央コミュニティセンター

2 内容別相談件数の推移

<対象年齢：18歳以上>

内容別 年度別	相談実人数（人）			相談内容（件）								
			内 在宅	施設	職親 委託	職業	医療 保健	生活	教育	療育 手帳	その他	計
H28	来所	350	0	0	0	8	2	180	0	204	73	467
	巡回	253	2	0	0	0	0	162	0	242	0	404
	計	603	2	0	0	8	2	342	0	446	73	871
H29	来所	494	0	0	0	57	0	349	0	224	60	690
	巡回	446	1	0	0	0	0	418	0	446	2	866
	計	940	1	0	0	57	0	767	0	670	62	1,556
H30	来所	433	0	0	0	52	0	329	0	192	47	620
	巡回	262	0	0	0	0	0	256	0	262	0	518
	計	695	0	0	0	52	0	585	0	454	47	1,138
R1	来所	474	0	0	0	38	0	254	1	168	107	568
	巡回	182	0	0	0	0	0	137	0	182	6	325
	計	656	0	0	0	38	0	391	1	350	113	893
R2	来所	493	0	0	0	46	0	233	0	142	145	566
	巡回	88	0	0	0	0	0	72	0	88	16	176
	計	581	0	0	0	46	0	305	0	230	161	742
R3	来所	720	0	0	0	43	0	354	0	310	190	897
	巡回	260	0	0	0	0	0	259	0	260	26	545
	計	980	0	0	0	43	0	613	0	570	216	1,442
R4	来所	493	0	0	0	38	1	212	0	259	184	694
	巡回	66	0	0	0	0	1	67	0	121	0	189
	計	559	0	0	0	38	2	279	0	380	184	883
R5	来所	202	0	0	0	31	0	217	0	124	36	408
	巡回	118	0	0	0	1	0	118	0	118	0	237
	計	320	0	0	0	32	0	335	0	242	36	645
R6	来所	367	0	0	0	48	0	217	1	141	89	496
	巡回	92	0	0	0	12	0	92	0	92	0	196
	計	459	0	0	0	60	0	309	1	233	89	692
R7	来所	191	0	0	0	40	1	324	0	276	46	687
	巡回	144	0	0	0	12	1	144	1	144	0	302
	計	335	0	0	0	52	2	468	1	420	46	989

3 内容別判定件数の推移

<対象年齢：18歳以上>

内容別 年度別	判定内容（件）					判定書等交付件数（件）				
		医学的 判定	心理学 的判定	職能的 判定	その他	計	施設 入所	療育 手帳	その他	計
H28	来所	49	326	0	0	375	0	201	123	324
	巡回	38	242	1	0	281	1	240	0	241
	計	87	568	1	0	656	1	441	123	565
H29	来所	52	494	0	0	546	0	224	270	494
	巡回	35	446	0	0	481	0	446	0	446
	計	87	940	0	0	1027	0	670	270	940
H30	来所	42	433	0	0	475	0	192	241	433
	巡回	27	262	0	0	289	0	262	0	262
	計	69	695	0	0	764	0	454	241	695
R1	来所	20	474	0	0	494	0	168	363	531
	巡回	18	182	0	0	200	1	182	0	183
	計	38	656	0	0	694	1	350	363	714
R2	来所	21	493	0	0	514	0	142	420	562
	巡回	28	88	0	0	116	0	88	0	88
	計	49	581	0	0	630	0	230	420	650
R3	来所	22	720	0	0	742	0	169	551	720
	巡回	33	260	0	0	293	0	260	0	260
	計	55	980	0	0	1,035	0	429	551	980
R4	来所	32	616	0	0	648	0	88	493	581
	巡回	18	119	0	0	137	0	72	0	72
	計	50	735	0	0	785	0	160	493	653
R5	来所	29	304	0	0	333	0	103	202	305
	巡回	28	116	0	0	144	0	118	0	118
	計	57	420	0	0	477	0	221	202	423
R6	来所	37	367	0	0	404	0	112	255	367
	巡回	39	92	0	0	131	0	92	0	92
	計	76	459	0	0	535	0	204	255	459
R7	来所	40	483	0	1	524	0	192	292	484
	巡回	26	144	0	0	170	0	144	0	144
	計	66	627	0	1	694	0	336	292	628

4 巡回相談実施状況(令和7年度実績)

<対象年齢：18歳以上>

種別	回数 (回)	相談者数 (人)
定期	26	134
臨時	1	8
特別	0	0
在宅	1	1
病院	0	0
施設	1	1
計	29	144

5 療育手帳判定実施状況(令和7年度実績)

<対象年齢：18歳以上>

(1) 障害程度別

(件)

程度	A1	A2	B1	B2	非該当	計
交付	2	4	8	59	21	94
更新	41	46	49	204	6	346
計	43	50	57	263	27	440

(2) 生活状況別

(件)

生活状況	在宅無職	通所	入所	有職	学生	入院	その他	計
交付	48	21	0	19	5	1	0	94
更新	33	175	12	89	37	0	0	346
相談	0	0	0	0	0	0	0	0
計	81	196	12	108	42	1	0	440

(3) 年代別

(件)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	計
交付	3	39	18	21	8	5	94
更新	105	234	2	2	1	2	346
相談	0	0	0	0	0	0	0
計	108	273	20	23	9	7	440

6 療育手帳新規交付者数の推移

<対象年齢：18歳以上>

(1) 障害程度別

年度	A1	A2	B1	B2	非該当	計
R1	2	0	14	52	7	75
R2	1	0	16	62	5	85
R3	1	1	15	57	9	83
R4	1	2	15	48	14	80
R5	2	1	10	59	17	89
R6	2	1	9	70	21	103
R7	2	4	8	59	21	94

(2) 生活状況別

(件)

年度	在宅無職	通所	入所	有職	学生	入院	その他	計
R1	43	6	3	11	7	1	4	75
R2	45	8	7	15	9	0	1	85
R3	39	14	1	20	9	0	0	83
R4	46	9	2	17	6	0	0	80
R5	38	14	4	23	7	1	2	89
R6	39	14	4	38	6	1	1	103
R7	48	21	0	19	5	1	0	94

(3) 年齢別

(件)

年度	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	計
R1	8	16	17	17	13	4	75
R2	14	22	12	9	22	6	85
R3	10	25	10	17	16	5	83
R4	11	21	11	21	11	5	80
R5	10	27	19	16	13	4	89
R6	5	22	24	21	27	4	103
R7	3	39	18	21	8	5	94

7 巡回相談(知的障害児)

【令和7年度実施場所】

＜対象年齢：18歳未満＞

障害児者サポートセンターは和歌山市圏域、海草圏域、那賀圏域、伊都圏域、有田圏域、日高圏域（みなべ町を除く）を管轄し、紀南児童相談所は西牟婁圏域（みなべ町を含む）、東牟婁圏域を管轄している。

○障害児者サポートセンター

地 域	日 程	場 所
伊 都	5月21日・7月2日・8月20日・ 10月8日・12月3日・2月4日	橋本保健所
那 賀	4月16日・5月14日・6月11日・ 7月23日・8月27日・9月17日・ 10月22日・11月19日・12月17日 1月7日・2月25日・3月18日	岩出保健所
有 田	8月8日・1月14日	湯浅保健所
日 高	5月7日・8月6日・11月26日・ 2月18日	御坊保健所

8 療育手帳交付数

＜障害児（18歳未満）判定分（当センター分）＞

障害程度状況

年度	A1	A2	B1	B2	非該当	計
R7	45	100	159	448	92	844

内、新規交付者数

年度	A1	A2	B1	B2	計
R7	3	13	43	172	231

（注）新規判定者とは他府県からの転入者を含む。

V 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

1 業務内容

高次脳機能障害支援拠点機関において、高次脳機能障害者に対する相談支援を行うとともに、普及啓発及び研修事業等を行う。

(1) 相談支援

相談業務

相談を通じて、高次脳機能障害者に関する支援を行う。ケース会議等に参加し、支援方法を検討し、支援を実施した。

方 法：来所・電話相談（相談時間 平日 9:00 ～ 17:00）。

適宜、ケース会議等訪問での相談。

(2) 支援ネットワーク構築

検討委員会

高次脳機能障害者の自立と社会参加の実現をめざし、高次脳機能障害者に対する支援体制を確立するために検討委員会を設置している。支援拠点機関の活動に対する助言、関係機関

・団体相互の連携、取り組み成果の検証を行い、ネットワークの構築及び、連携の促進を検討した。

日 時：令和 8 年 3 月 2 日（月）

場 所：障害児者サポートセンター 1 階会議室

(3) 人材育成・普及啓発

① 全体研修会（県内全域の一般県民を対象とした高次脳機能障害研修会）

主に一般県民を対象に、医療・福祉・介護・行政の関係者、就労支援関係者、家族等に向け高次脳機能障害の基礎知識と具体的な支援などについて研修会を開催した。

日 時：令和 8 年 2 月 23 日（月・祝）13:00～17:00

開催形式：対面集合形式

参加者：80 名

場 所：和歌山県立情報交流センターBig・U 多目的ホール

内 容：「高次脳機能障害の理解と支援」

第 1 部 講演「高次脳機能障害のある方とそのご家族の心理支援」

日本高次脳機能障害友の会顧問

臨床心理士・公認心理師 山口 加代子 氏

第 2 部 講演「高次脳機能障害『軽度・重度』とは何か？

～～その障害像 10 年～」

ルポライター・高次脳機能障害当事者 鈴木 大介 氏

第 3 部 対談「高次脳機能障害 自己理解の立ち上げ支援について」

○日本高次脳機能障害友の会顧問

臨床心理士・公認心理師 山口加代子 氏

○ルポライター・高次脳機能障害当事者 鈴木 大介 氏

② 高次脳機能障害支援養成研修会

高次脳機能障害の支援の指導者を養成することを目的に、国立障害者リハビリテーションセンターが作成したテキスト及びカリキュラムに基づいた研修を、障害福祉サービスに係る事業所の支援者を対象に、県内 2 つの地域（紀北・紀南）に分けて開催した。

研修修了証交付者数：43 名

【基礎編】

○講義（事前学習）

日 時：令和7年8月18日（月）～8月29日（金）の期間

開催形式：オンデマンド配信（You Tube）

○演習

①日 時：令和7年9月3日（水）

場 所：（紀北）伊都振興局

開催形式：対面集合形式

②日 時：令和7年9月5日（金）

場 所：（紀南）御坊保健所

開催形式：対面集合形式

【実践編】

○講義（事前学習）

日 時：令和7年9月1日（月）～9月12日（金）の期間

開催形式：オンデマンド配信（You Tube）

○演習

①日 時：令和7年9月17日（水）

場 所：（紀北）伊都振興局

開催形式：対面集合形式

②日 時：令和7年9月19日（金）

場 所：（紀南）御坊保健所

開催形式：対面集合形式

<講義内容>

国立障害者リハビリテーションセンター作成の動画及び和歌山県障害児者サポートセンター作成の動画による講義

【基礎編】

- 01「高次脳機能障害とは」
- 02「高次脳機能障害の診断・評価」
- 03「病院で行うリハビリテーション医学的リハビリテーション」
- 04「失語症とコミュニケーション支援」
- 05「障害福祉制度の利用」
- 06「相談支援」
- 07「生活訓練（障害福祉施設で行うリハビリテーション）」
- 08「復職・就労移行（障害福祉および障害者雇用における取組）」
- 09「生活と支援の実際（就労継続支援B型事業の利用）」

【実践編】

- 01A「障害特性に応じた支援・地域の支援体制」
- 01B 前半「認知症・発達障害との共通点と相違点」
- 02A「小児期における支援」
- 02B「長期経過とフォローアップ」
- 03A「多職種連携・地域連携」
- 03B「多職種連携・地域連携」
- 03C「コミュニケーション支援」
- 03D「支援の実践的な枠組みと記録」
- 03E「自動車運転再開支援」

＜演習内容＞

【基礎編】

- 01「障害特性の理解 - 診断・評価体験 -」
講師：医療法人南労会 紀和病院 リハビリテーション部
主任言語聴覚士 足立 直子 氏
- 02「障害特性に応じた支援 - 退院時支援の実際、情報収集とアセスメント -」
講師：和歌山県障害児者サポートセンター
高次脳機能障害支援コーディネーター
- 03「障害特性に応じた支援 - 自立訓練の実際 -」
講師：NPO 法人りとるの
難病患者・中途障害者共同作業所 ワークショップフラット
施設長 山本 功 氏
- 04「障害特性に応じた支援 - 復職・就労移行支援 -」
講師：和歌山障害児者職業センター
主任障害者職業カウンセラー 前田 裕子 氏

【実践編】

（紀北）

- 01「障害特性の理解と対応方法」
- 02「環境調整による支援と記録に基づく支援の評価」
講師：堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター
堺市高次脳機能障害拠点機関
高次脳機能障害支援コーディネーター
所長代理 別府 知代 氏
西脇 和美 氏

（紀南）

- 01「障害特性の理解と対応方法」
講師：基幹相談支援センターにしむろ
主任相談支援専門員 石神 慎太郎 氏
- 02「環境調整による支援と記録に基づく支援の評価」
講師：特定非営利活動法人よつ葉福祉会
理事長 井端 隆介 氏

③ 高次脳機能障害に関する研修会への講師派遣

地域における高次脳機能障害に対する普及啓発及び支援の技術向上のため研修会への講師派遣を実施した。

ア 日 時：令和7年11月18日（火）13:30～15:00

場 所：海南市役所 4A 会議室

団体名：海南・海草障害者地域自立支援協議会 就労部会 定例会

内 容：「高次脳機能障害の内容及び対応について」

講 師：和歌山県障害児者サポートセンター職員

イ 日 時：令和8年3月5日（木）14:30～15:20

場 所：和歌山県立情報交流センターBig・U 会議室1

団体名：社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

令和7年度第2回福祉サービス利用援助事業専門員研修会

生活支援員継続研修会

内 容：高次脳機能障害について

講 師：和歌山県障害児者サポートセンター職員

④ 高次脳機能障害についての説明動画の掲載

高次脳機能障害の普及・啓発のために、基礎知識・対応方法などの解説、また、拠点機関の紹介した動画を作成し、和歌山県障害児者サポートセンターのホームページに掲載した。

⑤ 和歌山高次脳機能障害リハビリテーション講習会への協力

(損保協会補助金事業による実行委員会主催の講習会)

医療・福祉・介護・行政の関係者、就労支援関係者、家族等のほか一般県民を対象に、高次脳機能障害の理解を深められることを目的とした研修会への協力を実施した。

日 時：令和7年12月20日(土) 13:00~17:00

場 所：和歌山県勤労福祉会館・プラザホープ 4F ホール

開催形式：対面形式による研修

参加者：120名

内 容：「明日へ、あきらめない」

第1部「高次脳機能障害のおさらい - それぞれの悩み事から -」

講師：和歌山生協病院

リハビリテーション科医長 土生 晃之 氏

第2部「当事者の会 え〜わの会からの報告」

講師：え〜わの会

代表 松永 裕介 氏

第3部「フラットの25年のあゆみ」

講師：NPO法人りとるの

難病患者・中途障害者共同作業所 ワークショップフラット

施設長 山本 功 氏

第4部「当事者・家族に分かれての情報交流」

⑥ 広報活動(街頭啓発)

家族会との合同開催し、スーパーの店舗出入口付近でのリーフレット及びティッシュ等の啓発資材の配布を行い、啓発活動を行った。

○日 時：令和7年12月4日(木) 13:00~14:00

場 所：和歌山市 オークワ スーパーセンター (約300組)

○日 時：令和7年12月6日(土) 10:00~11:00

場 所：田辺市 オークワ パビリオンシティ (約300組)

(4) その他

① 地域協議会への参加

橋本・伊都地域自立支援協議会 地域生活支援部会 高次脳機能障害分科会への定期参加

日時：令和7年07月16日(水)

令和7年09月10日(水)

令和7年11月12日(水)

令和8年01月14日(水)

② 研修会等への出席

ア 令和7年7月2日(水) 午前 職員3名

令和7年度第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会

国立障害者リハビリテーションセンター *オンライン開催

イ 令和7年7月2日(水) 午後 職員2名

令和7年度第1回高次脳機能障害支援普及コーディネーター全国会議

国立障害者リハビリテーションセンター *オンライン開催

- ウ 令和7年7月9日（水）～7月10日（木） 職員2名
 高次脳機能障害支援・指導者養成研修会（実践研修）
 国立障害者リハビリテーションセンター ＊オンライン開催
- エ 令和8年1月13日（火） 午後
 令和7年度高次脳機能障害支援普及
 ○近畿ブロック連絡協議会 職員3名、家族会1名
 ○近畿ブロックコーディネーター支援会議 職員3名
 開催県：和歌山県 ＊オンライン開催
- オ 令和8年2月13日（金） 午前 職員3名
 ○令和7年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
 ○令和7年度第2回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
 国立リハビリテーションセンター ＊オンライン開催

【年間事業日程】令和7年度実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支援ネットワーク構築												
検討委員会												3/2
全国連絡会議				7/2							2/13	
支援コーディネーター全国会議				7/2							2/13	
近畿ブロック連絡協議会										1/13		
近畿支援コーディネーター会議										1/13		
国リハセンター主催				7/9								
指導者養成研修会				7/10								
地域協議会				7/16		9/10		11/12		1/14		
人材育成・普及啓発												
リハ講習会									12/20			
全体研修会											2/23	
支援養成研修会 (基礎)				オンライン期間 8/1～8/29		9/3 9/5						
支援養成研修会 (実践)				オンライン期間 9/1～9/12		9/17 9/19						
講師派遣								11/18				3/5
啓発活動									12/4 12/6			

2 相談内訳

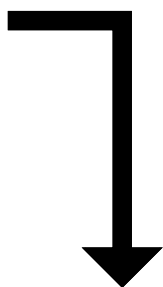
令和7年度（4月～3月） 相談者の状況

■相談件数は延べ408件(令和7年4月1日～令和8年3月31日)。

支援・コーディネート対象者は36件（新規登録者は7件）。

◆障害別

	件数	(新規)
高次脳機能障害	31	6
精神障害	0	0
高次脳＋精神	4	1
知的障害・発達障害	0	0
認知症	0	0
その他の障害	1	0
合計	36	7



■高次脳機能障害相談（36件）の内訳

◆性別

	件数	(新規)
男	24	7
女	12	0
不明	0	0
合計	36	7

◆居住地別

	件数	(新規)
和歌山市	20	3
海南市	3	0
橋本市	3	2
有田市	1	0
御坊市	0	0
田辺市	1	0
新宮市	0	0
紀の川市	1	0
岩出市	1	0
海草郡	0	0
伊都郡	1	0
有田郡	1	0
日高郡	2	2
西牟婁郡	0	0
東牟婁郡	0	0
県外	2	0
不明	0	0
合計	36	7

◆発症原因別

	件数	(新規)
脳外傷	11	1
脳出血	11	2
脳梗塞	7	2
脳腫瘍	5	2
脳炎	1	0
低酸素脳症	0	0
その他	1	0
不明	0	0
合計	36	7

◆年齢別

	件数	(新規)
0～12歳	1	0
13～17歳	1	0
18～39歳	9	2
40～64歳	25	5
65歳以上	0	0
不明	0	0
合計	36	7

◆初回の相談者別

	件数	(新規)
本人	7	0
家族	18	4
知人	0	0
行政機関	0	0
医療機関	7	0
相談機関	1	0
ケアマネジャー	0	0
関係機関	3	3
その他	0	0
合計	36	7

◆支援開始時の相談内容

	件数	(新規)
障害福祉サービス利用	13	1
健康・医療	7	0
障害・症状の理解	2	0
情緒の安定	0	0
家計・経済	0	0
就労・復職	6	1
教育・保育	1	0
人間関係・家族関係	2	2
確定診断	0	0
自動車運転	0	0
年金・手帳取得	4	2
余暇活動	0	0
介護サービス利用	0	0
情報提供	1	1
その他	0	0
合計	36	7

◆支援終了理由

	件数	(新規)
就労・復職	3	0
就学・復学	0	0
施設入所	2	0
入院 等	1	0
障害福祉サービス	10	2
介護サービス	0	0
各種手続きの終了	2	1
情報提供	0	0
転居 等	1	0
その他	4	1
継続支援	13	3
合計	36	7

※昨年度からの継続支援は今年度開始時の内容

■月別相談延件数 年度別

延べ件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R6年度	54	49	25	36	35	44	39	22	34	39	45	27	449
R7年度	42	33	24	35	37	44	68	52	41	7	9	16	408

■相談方法

	件数
電話	251
来所	16
訪問	129
メール	3
郵送・他	4
ケース会議	5
合計	408

■相談内容

	件数
障害福祉サービス利用	94
健康・医療	87
権利擁護	1
情緒の安定	10
家計・経済	3
就労・復職	72
教育・保育	3
人間関係・家族関係	7
生活技能	2
情報提供	70
その他	59
合計	408

■相談者

	件数
本人	174
家族	94
行政機関	7
医療機関	20
相談支援	56
障害事業所	54
介護事業所	1
教育機関	0
職業センター	0
職場	2
その他	0
合計	408

■月別相談実件数 年度別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	24	22	18	19	20	21	20	13	21	17	17	10	222
令和7年度	20	19	17	22	23	24	32	26	26	5	5	10	229

■令和6年度 月別実績

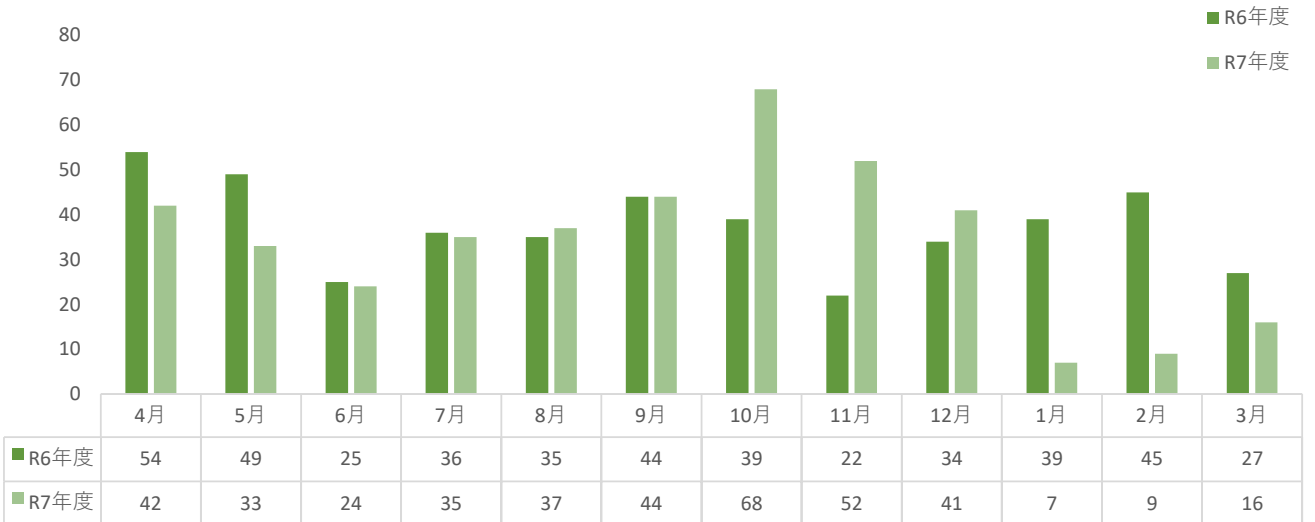
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	24	22	18	19	20	21	20	13	21	17	17	10	222
延べ件数	54	49	25	36	35	44	39	22	34	39	45	27	449

◆令和7年度 月別実績

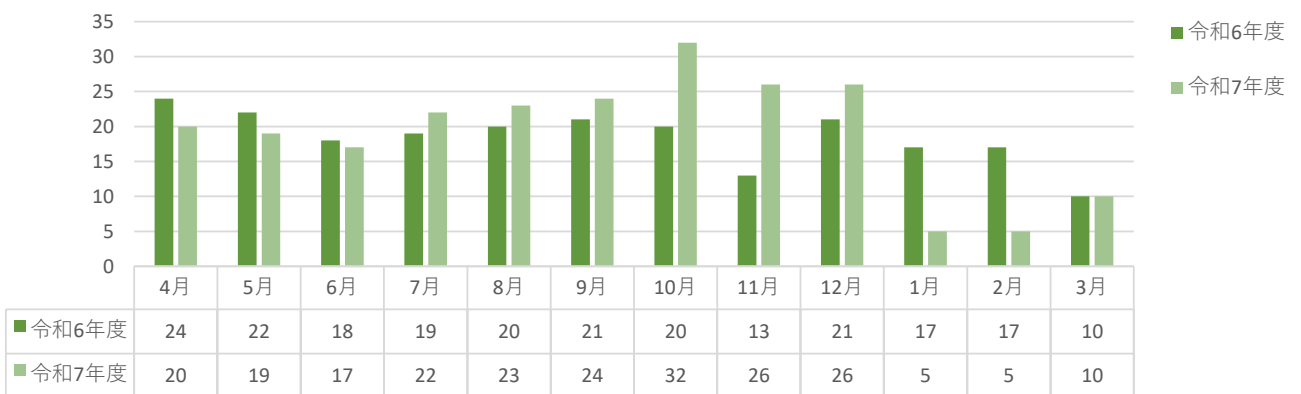
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	20	19	17	22	23	24	32	26	26	5	5	10	229
延べ件数	42	33	24	35	37	44	68	52	41	7	9	16	408

令和7年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 相談実績

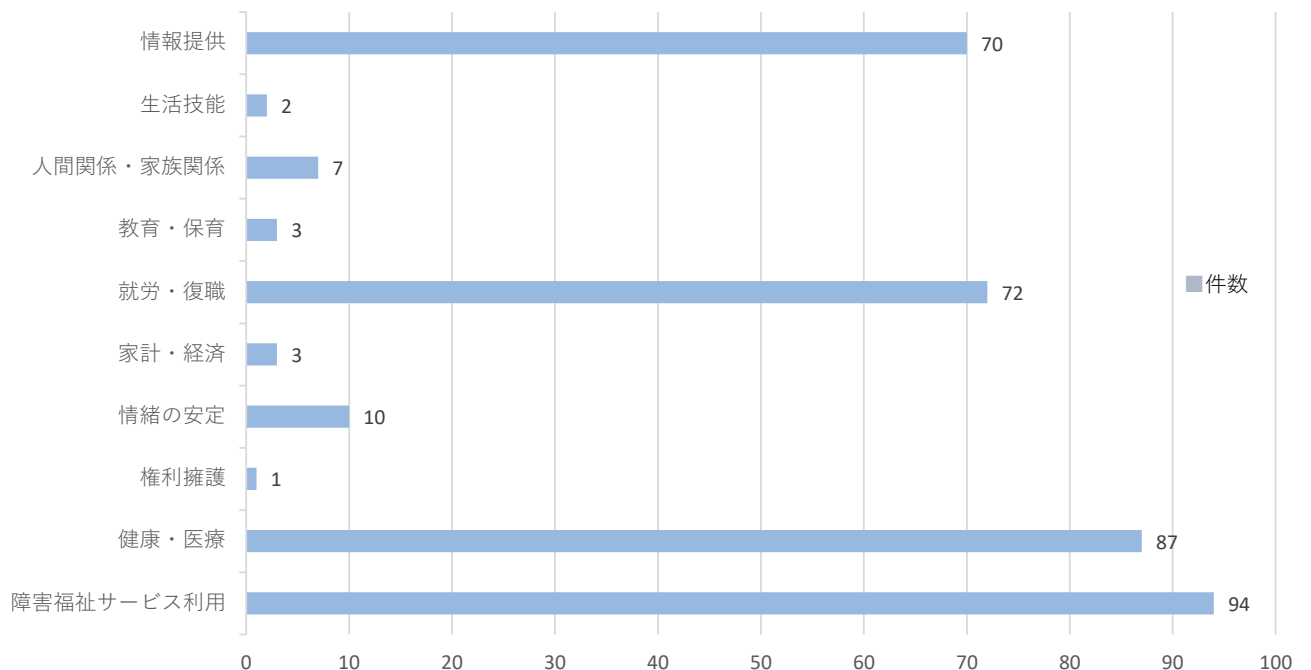
月別相談延件数 年度別



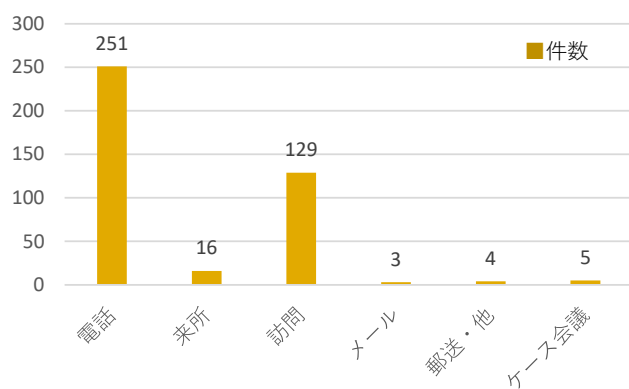
月別相談実件数 年度別



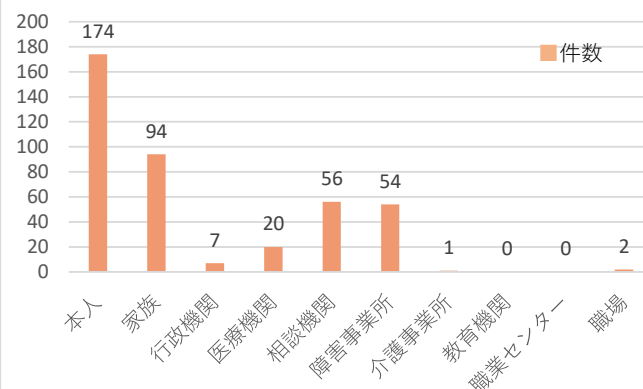
相談内容



相談方法



相談者



VI 身体障害者福祉センターの概要

1 施設の貸し出し

障害者（児）及び児童の健康増進、スポーツの振興、教養の向上を図るため、体育館とこれに付随する会議室等を、スポーツ、レクリエーションまたは研修の場として提供している。

温水プールについては、令和5年度に建替完成後、令和6年3月21日から利用開始をしている。

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
体育館	393	460	405	575	1,140	445	880	535	460	430	400	524	6,647
体育館 会議室	100	80	144	87	225	160	390	220	65	60	100	215	1,846
アーチェリー 場	72	88	168	140	148	136	148	144	0	20	124	132	1,320
温水プール	451	454	773	882	1,275	691	611	507	377	412	426	570	7,429
多目的 ホール	80	－	90	－	20	－	－	－	50	－	30	－	270
第2会議室	－	－	－	－	20	－	－	－	－	30	－	－	50
計	1,096	1,082	1,580	1,684	2,828	1,432	2,029	1,406	952	952	1,080	1,441	17,562

2 「声の県民の友」と「声のわかやま県議会だより」の発行

県民の方々へ、県行政の現状や事業の進捗状況、各種試験やイベントなどをお知らせするため県が毎月発行している広報紙「県民の友」を、朗読ボランティアサークル「和歌山グループ声」の協力を得て、「声の県民の友」としてCDに録音。視覚に障害のある方や図書館など58カ所に毎月郵送している。

また同様に、広報紙「わかやま県議会だより」を音声化した「声のわかやま県議会だより」も、年4回送付している。

VII 和歌山県障害者スポーツ協会の概要

和歌山県障害者スポーツ協会は、和歌山県身体障害者スポーツ協会と和歌山県ゆうあいスポーツ協会が統合し、平成 17 年 4 月 1 日に設立されました。

障害のある人のスポーツ・レクリエーション活動の振興を図るとともに、これらの活動を通じ、障害のある人の社会参加を促進し、福祉の向上に寄与することを目的としています。

事務局を和歌山県障害児者サポートセンター内に設置し、各種のスポーツ・レクリエーション大会、スポーツ教室の開催、スポーツ指導員の養成、障害者スポーツに関する普及啓発活動等を行うとともに、全国障害者スポーツ大会に向けた選手の強化に取り組んでいます。

令和 7 年度事業報告

1 和歌山県障害者スポーツ大会の開催

障害のある人が各種スポーツ競技を通じ、その楽しさを体験し、社会参加の推進を図ることを目的として、和歌山県障害者スポーツ大会（開会式：5 月 18 日（日））を開催しました。

また、この大会を、「第 24 回全国障害者スポーツ大会 わた SHIGA 輝く障スポ 2025」（フライングディスクは「第 25 回全国障害者スポーツ大会 青の煌めきあおもり障スポ 2026」）出場選手の選考会と位置づけ、出場者の競技能力の向上を図るための環境整備とともに、競技に対する意欲や関心が深まるよう大会の盛り上げや周知に努めました。

競 技 名	開催日及び会場		出場者数
陸 上 競 技	5 月 18 日（日）	紀三井寺公園陸上競技場	192 名
ア ー チ ョ ー	5 月 25 日（日）	障害児者サポートセンター	4 名
卓 球	5 月 25 日（日）	障害児者サポートセンター	40 名
ボ ウ リ ン グ	6 月 1 日（日）	和歌山グランドボウル	112 名
水 泳	6 月 1 日（日）	秋葉山公園県民水泳場	61 名
ボ ッ チ ャ	6 月 8 日（日）	障害児者サポートセンター	12 名
フライングディスク	9 月 28 日（日）	紀三井寺公園補助競技場	211 名

2 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣

「第 24 回全国障害者スポーツ大会 わた SHIGA 輝く障スポ 2025」は、10 月 25 日から 27 日までの 3 日間、滋賀県内各地で開催されました。

和歌山県から、個人競技 7 競技 32 名、団体競技 2 競技（バレーボール（知的障害男子）、フットソフトボール）19 名を派遣しました。

全国大会派遣に向けた主な取組について、以下のとおりです。

(1) 近畿地区予選会（団体競技）

団体競技近畿地区予選会が 5 月に近畿各地で開催されました。

試合の結果、バレーボール（知的障害男子）及びフットソフトボールが予選会を勝ち抜き、大会の出場権を獲得しました。

《各競技の結果》

競技	開催日及び会場	対戦相手	結果
バスケットボール (知的)	5月24日(土)、25日(日) 滋賀ダイハツアリーナ (大津市)	男子 奈良県	36－97 敗退
		女子	棄権
ソフトボール	5月25日(日) 高島市今津総合運動公園		没収試合
バレーボール (知的)	5月25日(日) 湖南市総合体育館	男子 兵庫県	2－ 0 勝利 全国大会へ出場
		女子 兵庫県	0－ 2 敗退
バレーボール (精神)	5月24日(土) 草津市立総合体育館	兵庫県	0－ 2 敗退
サッカー	5月24日(日) 野洲川歴史公園サッカー 場(守山市)	大阪市	1－ 1 (PK 3- 敗退 4)
フットソフトボール	5月25日(日) 県民共済ドーム長浜 (長浜市)	神戸市	21－ 1 勝利 全国大会へ出場

※車いすバスケットボール、グランドソフトボール及びバレーボール（聴覚障害）は、出場せず。

(2) 代表選手の選考決定等

① 個人競技

選考会において、各競技団体や福祉団体等から選出された選考委員により、7競技32名の選手を選出されました。

② 団体競技

監督の推薦により、バレーボール（知的障害男子）は9名を、フットソフトボールは10名を選手に決定しました。

③ 選手のサポート

選手が所属する施設や学校をはじめとする関係機関、団体等に協力を依頼し、指導及びサポートを行うコーチや役員として選手団に参加してもらい、選手のサポートに従事していただきました。

(3) 強化練習（令和7年7月中旬～10月中旬）

競技毎に強化練習を行いました。回を重ねる毎に練習に熱が入り、コーチや役員との絆も深まり、大会が近づくにつれて結束が強まっていきました。

(4) 全国大会への参加

① 結団式（10月13日）

選手役員紹介、団旗授与、激励の御言葉、選手の決意表明、記念撮影等を行いました。

② 選手団参加（10月23日～10月28日）

10月23日 和歌山県出発→滋賀県到着

10月24日 公式練習（各競技場）、激励会（各宿舎）

10月25日 開会式 平和堂HATOスタジアム

10月25日～27日 競技開催

個人競技：金メダル13個、銀メダル9個、銅メダル6個 合計28個

団体競技：バレーボール（知的障害男子）3位入賞

10月27日 閉会式 平和堂HATOスタジアム

10月28日 帰県

選手たちは、他県の選手との交流が深められ、良い思い出になり、それぞれの思いを胸に、帰県しました。

(5) 大会後の取組

① 個人競技の継続的な強化

スポーツ教室等を実施するなど、継続的な競技力向上を図っています。

② 団体競技の活動継続化

他府県の活動状況等の情報を共有するなど、団体活動の継続化に取り組んでいます。

(6) 団体競技和歌山県予選会の開催

「第25回全国障害者スポーツ大会 青の煌めきあおもり障スポ2026」団体競技近畿地区予選会に出場する県代表チームを選考する県予選会を開催しました。

《大会の開催結果及び会場》

競技名	開催日及び会場	結果
ソフトボール	令和8年3月1日（日） 海南市民運動場	13 - 7 きのかわブルーウェーブ みくまのドルフィンズ

サッカー及びフットソフトボールは、エントリーが1チームずつであったため、サッカーは「ブルーダイヤモンド和歌山FC」を、フットソフトボールは「和歌山フットソフトボールチーム」を、県代表チームに選考しました。

3 各種スポーツ大会の開催

障害者スポーツのより一層の振興と、障害のある人が競技を楽しむ機会の増加及び交流を深めることを目的として開催しました。

大会名	開催日及び会場	参加者数
第19回和歌山県障害者グラウンド・ゴルフ大会	10月4日（土）海南市民運動場	66名
第9回車椅子バスケットボール 琴の浦杯	10月12日（日）和歌山県立体育館	4チーム
第20回和歌山県障害者ふれあいインドアアーチェリー大会	11月9日（日） 障害児者サポートセンター	51名
第44回黒潮オープン 和歌山県障害者卓球選手権大会	12月8日（日）和歌山県立体育館	127名
第10回全国知的障害者親睦バレーボールわかやま大会	12月20日（土）、21日（日） 和歌山県立体育館	10チーム

※令和8年4月1日から和歌山県立体育館の愛称は「こうふくホーム和歌山アリーナ」となった。

4 スポーツ・レクリエーション大会の開催

誰もが楽しく参加できるレクリエーション・スポーツの大会を開催することで、重度障害のある人の参加の機会を提供するとともに多くの人との交流を深めることで、社会参加の促進を図ります。

大会名	開催日及び会場	参加者数
フレンドシップ 2025（ボッチャ）	8月24日（日） 和歌山県立体育館	27チーム 92名
第22回和歌山県ゆうあいスポーツフェスタ	11月30日（日） 和歌山ビックホエール、 和歌山グランドボウル	431名

5 障害者スポーツの普及啓発

(1) 広報活動

障害者スポーツの振興と発展を図り、障害のある人を含めた多くの県民の方々に障害者スポーツの理解と認識を深めていただくため、広報誌（WS SK）を発行して県内関係団体や施設、支援学校等に配布するとともに、ホームページで情報発信を行いました。

各事業の開催に当たっては、報道機関などメディアによる広報、賛助会員の企業内ネットワークを活用した広報やメールによる情報提供、関係団体・施設・支援学校等に開催案内の配布や当協会インスタグラムによる広報等で、参加者の募集を行いました。

また、協会組織の充実と強化を進めるため、会員加入依頼を行いました。県内の主な福祉関係団体や施設、作業所を訪問して当協会の取組内容を周知するとともに、事業所を訪問し協力を依頼しました。

会員数（令和8年3月現在）

正会員		賛助会員		クラブ会員
個人	団体	個人	団体	9クラブ 127名
25名	54団体	159名	58団体	

(2) 障害者スポーツ体験

障害者スポーツに対する理解を深めるため、県内各地域の施設や学校、団体等の要請により、障害者スポーツの紹介や体験指導を実施しました。

6 部会活動の推進

障害者スポーツの振興を図るため、各競技部会（9部会）の活動、運営を支援し、助成を行いました。

○ 部会

車椅子バスケットボール、野球、卓球、テニス、グラウンド・ゴルフ、カヌー、アーチェリー、ボウリング、バドミントン

○ 部会活動

定期練習の実施、競技大会の開催、県内外競技大会への参加、部会長会議の開催（4月、9月、1月）

7 スポーツ教室(体験会)の開催

障害がある人への競技の普及とスポーツに親しむ機会を増やすことを目的としてスポーツ教室を30回(9競技)開催し、延べ846名の方が参加されました。

指導者やスポーツ指導員の方々に協力いただき、ルール等の習熟や障害に応じた技能の習得が図れるよう、内容等について検討を重ねながら開催しました。

○開催実績

①スポーツ教室

日 程	競技種目	場 所	参加人数
6月 14日	カヌー	障害児者サポートセンター	6名
6月 22日	フライングディスク	紀三井寺公園補助競技場	8名
7月 6日	フライングディスク	紀三井寺公園陸上競技場	9名
7月 26日	水泳	障害児者サポートセンター	7名
10月 5日	ボッチャ	田辺スポーツパーク	6名
10月 18日	カヌー	障害児者サポートセンター	10名
12月 13日	フットソフトボール	ビッグスマイルパークえみくるドーム	14名
12月 14日	フットソフトボール	くろしおスタジアム屋内練習場	8名
12月 21日	バスケットボール	障害児者サポートセンター	21名
1月 18日	卓球	障害児者サポートセンター	3名
1月 31日	ボッチャ	上富田町立岩田公民館	19名
2月 1日	陸上	県立みくまの支援学校	11名
2月 7日	バスケットボール	障害児者サポートセンター	30名
3月 7日	水泳	障害児者サポートセンター	12名
3月 15日	アーチェリー	障害児者サポートセンター	3名
合計			167名

②複数型スポーツ教室(パラスポMeet)

平成28年度 和歌山県立体育館 大会日程表			
日 程	競技種目	場 所	参加人数
9 月 1 5 日	フライングディスク	和歌山県立体育館	19名
	ボッチャ		18名
1 1 月 2 4 日	フットソフトボール	紀三井寺公園補助競技場	10名
	フライングディスク		24名
2 月 1 日	ボッチャ	新宮市立総合体育館	11名
	卓球		16名
合 計			98名

③出前型スポーツ教室

日 程	競技種目	場 所	参加人数
5月 24日	ボッチャ	和歌山市ふれあいセンター	15名
6月 21日	ボッチャ	和歌山市ふれあいセンター	21名
9月 14日	卓球バレー・ボッチャ	和歌山ビッグ愛	13名
10月 30日	ボッチャ	上富田福祉センター	17名
11月 21日	ボッチャ	障害児者サポートセンター	72名
12月 2日	ボッチャ	田辺市体育センター	21名
1月 29日	卓球	県立こころの医療センター	25名
合計			184名

④イベント型スポーツ教室

日 程	競技種目	場 所	参加人数
8月 6日	ボッチャ	イオンモール和歌山	384名
11月 2日	ボッチャ	和歌山ビッグ愛	13名
合計			397名

8 初級パラスポーツ指導員養成講習会の開催

障害のある人がスポーツに取り組むに当たって、支援や指導を行うことができる方を養成するため、公益財団法人日本パラスポーツ協会が認定した資格である「初級パラスポーツ指導員」の養成講習会を開催しました。

日時・場所：7月19日（土）、20日（日）、21日（月祝） 障害児者サポートセンター

内 容：講義及び実技、実習（13カリキュラム、21時間）

修了者：15名

Ⅷ こども診療室（こどもメンタルクリニック）の概要

＜令和元年 6 月 1 日から休止＞

1 事業の概要

(1) 目 的

子供と親への精神科医療を提供し、子供を育てる家庭のニーズに応え、不足している地域における子供の精神保健サービスの向上を目指す。

(2) 実施体制（令和元年度まで）

- ①診療時間 毎週月曜日 9：00 ～ 17：00
毎週木曜日 9：00 ～ 12：00
毎週金曜日 9：00 ～ 17：00
- ②場 所 県子ども・女性・障害者相談センター内
- ③診療科目 精神科（主として 4 歳以上 18 歳未満の子どもとその親を対象）
- ④診療内容 （ア）子供の情緒・行動上の問題の診療と親ガイダンス
（イ）不登校児童の診療と親子のカウンセリング
（ウ）育児不安や産後うつ病等こころの問題を抱える母親の診療
（エ）被虐待児童の診療と治療的介入
- ⑤申込方法 電話または診療窓口で直接（完全予約制）
- ⑥そ の 他 平成 17 年 6 月から実施

2 実施状況

令和元年 6 月 1 日から休止中であり実施していない。